

閉塞感の一年

日立メディカルセンター看護専門学校
校長 末永 仁

コロナ、ステイ・ホーム、マスク、手洗い、うがい、ソーシャル・ディスタンス・・・、これらの言葉をこの一年で何度聞いたことでしょうか？皆さんも常にマスク同士で顔を合わせ、また自宅待機の期間を過ごしたりした事と思います。実は私も素顔を知っている学生さんはほんの一握りでしかありません。そして病院と看護学校以外の外出はほぼゼロで、私にとっても何とも閉塞感の強い一年でした。一体いつまでこの状態が続くのか、まだその答えは見えません。ワクチンが国民全員（希望者ですが）に行き渡ったとしても、マスク無しの生活が出来るとは私には思えません。ウィルスの変異は続き、また新たなワクチン接種が必要になるのではないかと考えています。新型コロナウイルスとの我慢比べ、みんなで一緒に頑張りましょう。

10年前の3月11日、東日本大震災が起こりました。当校も校舎の一部に被害が出ました。その時、私の病院は「関東唯一の津波被災病院」になりました。当時50年に一度、と言われた地震でしたが、もう既にそれから10年が経ちました。あと40年ある、と考えるのは早計です。50年ごとに起こるわけではありませんから、明日起こっても不思議はないのです。

当時の学生さんたちに話したことを今でも覚えています。電気が来なくなった病院では何一つ機械が動かなくなりました。予備電源も使い果たし、津波で非常用電源も使えなくなりました。やがて電池も尽き、パルスオキシメーターも使えなくなりました。普段からパルスオキシメーターの表示と爪の色を一緒に見ておけば、爪に白癬症がなければ大体の血中酸素濃度が分かります。電気が無いから患者さんの状態が分からないでは済まされないのです。

皆さんも医療者としてそのまさかの事態に常に備え、いつでも当然の働きができるよう、毎日小さな事を心がけて過ごして下さい。

第1看護学科の近況

コロナ禍ではありますが、実習施設の協力もあり、2月に初めての基礎看護学実習を行いました。初めて患者様と触れ合い、貴重な学びを得ることができました。

また、基礎看護学技術論の授業は1年生で終了になります。1年間で学んだ知識と技術を活かした試験があるので、日々学習をしています。



卒業生からのメッセージ

自分の
夢に向かって
一歩ずつ

3年間の中で
辛いこともあると思います
みんなで支え合って
頑張ってください
応援しています

休まず
繰り返すことが
夢への第一歩

国家試験の
勉強と実習
頑張ってください
応援しています
学校生活楽しんでください

前進し続けられたのは
自分がやることを
愛していたからだ
You Can Do It

辛くても
ココロは腐るな
夢見た白衣の天使

自分のなりたい
看護師像を思い描きながら、
夢に向かって
仲間と励まし合いながら
3年間頑張ってください

国試・実習・課題
テストなど・・・
なんとかなります！
気楽に
いきましょう！

学校生活を
楽しんでください
準備は早めにやると
後々楽になります

柔軟

夢に向かって
頑張っ
てください

負けないこと
(指導者・先生)
投げ出さないこと
(課題・記録)

1日1日の
努力が大事です！
国家試験
頑張ってください

色々あるけど
頑張ってください

体調管理に
気をつけて
国家試験に向けて
実習や勉強を
頑張ってください！
応援しています

その根っことは見えない
その見えないところに
大事な点がある
一生勉強
一生青春

ムリしないで
実習と国試対策
頑張ってください

3年間の学校生活は
あっという間に過ぎていきます
大変なこともたくさん
あると思いますが
頑張ってください

辛いこと
苦しいこと
数えられないくらい
あると思うけど、諦めず
夢を叶えるためにFight!

逃げださないこと
(実習)
信じ抜くこと
(頑張った
自分を信じて)

頑張ってください

勉強・実習など
大変だと思いますが
両立をして
頑張ってください
応援しています！

体調に気をつけて
夢に向かって
頑張ってください

3年間
あっという間で
頑張ってください